

P 3 4 □負の数をかけること

正の数×正の数 小学校で
負の数×正の数 前の時間やりました。

では、次に 正の数×負の数 について考えましょう。

$$(+2) \times (-3)$$

$$(+2) \times (+3) = +6$$

$$(+2) \times (+2) = +4$$

↓ 2 ずつへっている

$$(+2) \times (+1) = +2$$

この流れからいくと

$$(+2) \times 0 = 0$$

$$(+2) \times (-1) = -2$$

$$(+2) \times (-2) = -4$$

$$(+2) \times (-3) = -6$$

「正の数×負の数 は絶対値の積に負の符号をつけます。」

例 2 $7 \times (-5) = -35$

問 2 「やってみましょう」

(1) $5 \times (-6) = -30$ (2) $9 \times (-8) = -72$ (3) $10 \times (-10)$
 $= -100$

では、最後に 負の数×負の数 について考えましょう。

$$(-2) \times (-3)$$

$$(-2) \times (+3) = -6$$

$$(-2) \times (+2) = -4$$

↓ 2 ずつふえている

$$(-2) \times (+1) = -2$$

この流れからいくと

$$(-2) \times 0 = 0$$

$$(-2) \times (-1) = +2$$

$$(-2) \times (-2) = +4$$

$$(-2) \times (-3) = +6$$

「正の数×負の数 は絶対値の積に正の符号をつけます。」

例 3 $(-8) \times (-5) = +40$

問3 「やってみましょう」

$$(1) (-4) \times (-9) = 36 \quad (2) (-8) \times (-7) = 56$$

$$(3) (-10) \times (-10) = 100$$

ここで かけざんも 同符号→ 正
異符号→ 負

と覚えておけばよいことをいっておくと
良い